

小林市立幸ヶ丘小学校 学校だより

令和5年度
第5号

こすもす

文責：園田祐一郎

ホームページ <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1410/htdocs/>

QRコード



PTA魚のつかみ取り大会

7月2日(日)の午後に、PTAによる本校恒例行事の魚のつかみ取り大会を行いました。昨年は、コロナ禍ということで、魚をさばいた後は持ち帰っていたのですが、今年は久しぶりに、魚の塩焼きを食べ、その後は懇親会も行われました。また、魚はニジマスだけでなく鯉も入れ、鯉こくにさせていただきました。

8月行事予定



夏休み

2日(水)登校日
放課後子ども教室(木工)

10日(木)～16日(水)
学校閉庁期間

25日(金)1学期後半授業開始日
全校朝会、運動会団決定
図書館開館

28日(月)読み聞かせ、結団式

29日(火)委員会活動

30日(水)ALT来校



いちびょう ことば
一秒の言葉

「はじめまして」 この一秒ほどの短い言葉に 一生のときめきを感じることもある
「ありがとう」 この一秒ほどの短い言葉に 人の優しさを知ることがある
「がんばって」 この一秒ほどの短い言葉で 勇気がよみがえってくることもある
「おめでとう」 この一秒ほどの短い言葉で しあわせにあふれることがある
「ごめんなさい」 この一秒ほどの短い言葉に 人の弱さを見ることがある
「さようなら」 この一秒ほどの短い言葉が一生の別れになる時がある
一秒に喜び 一秒に泣く 一生懸命 一秒

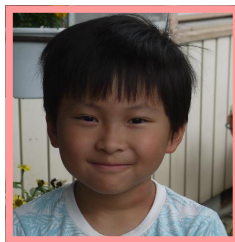
日曜参観

7月2日（日）の午前中は、日曜参観でした。今回の参観授業は、どの学級も人権学習でした。上記の「一秒の言葉」は、小泉吉宏さんの一秒の言葉という詩で、5・6年生の授業では、「はじめまして」「ありがとう」「がんばって」「おめでとう」「ごめんなさい」「さようなら」のそれぞれの一秒の言葉が空欄になっていて、その言葉を考える授業を行いました。

アナウンサーは放送で原稿を読むとき100字を20秒で読むそうです。となると、5字は一秒、つまり、5音で一秒となります。私たちが無意識のうちに過ごしている瞬間ほどの時間で、人はしっかりと意思を伝えることができます。たった一秒の言葉が、時には人の心や人生を幸せにします。逆に、何気なくはなかった一秒の言葉が、自分の気づかないところで人の心を傷つけたり、人生をよくない方向に導いたりします。一秒の言葉には大きな力があります。私たちは、いろいろな違いを認め合い、お互いを個人として尊重し共生していける世の中を築かなければいけません。そのためにも子どもたちには、自分の言葉について考え、言葉の感性を磨いてほしいと思っています。心温まる、やさしい言葉がいっぱいの幸ヶ丘小学校にしたいものです。



早なあの1しまおに三ッ うウ が おんまべたれんがい
おおりますトたがんにぎつづおのムか入ぼひなっんとてと早だほ
きとまくきが°ぶ中ぎり入にベじをがつくる中てときいうおにく
しうしてないとりをりでつくんか見くいてがにみいうにまをき`が
てきた`たつてとえはしてるとんたぎいる大あかたのはしつしおね
つく`ままばもからまたいまうにあじとすけな`たくてとてが
っ`おいおじま°まれのなりについなことであても°っ`うい
ていハやにいっ中ぼしたふま`かなッと`がうおておさる
くれいしなしたたにくた大たし`かなナに`どしおきくべんあ
てありあまて、る`のなあ°ってでお思のした
いりし目ツとツりおけとブいのおた
がったのナ思ナまにる おうまにおた
ぱし°前マッマきぎとベネしに°け
いたぼにヨてヨのり`んタたぎど
に°くハで`のおがラとり



◎ 七月三日掲載

おとうさんありがとう
春のえん足が
二年大田 正太郎
おとうさんありがとう
春のえん足が
二年大田 正太郎

宮崎日日新聞の「みんなの作文」に掲載された作文です。